

令和3年度事業計画

令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 基本方針

「人生100年時代」に突入した我が国の総人口(令和3年1月1日現在:1億2557万人)は、長期の人口減少に突入しており、令和35年には1億人を割ると推計されています。総人口が減少する一方で、高齢化率は上昇を続け、令和22年には3人に1人が65歳以上になると見込まれています。(令和2年版高齢社会白書・内閣府)

超高齢社会という新たな時代を迎え、高齢者を取り巻く環境も大きく変化していく中、当センターは、会員同士が支え合いながら、元気に安心して就業できることが運営の課題になっています。

また、中期基本計画3年目の中、各地で新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が開始され、センター事業回復の兆しが見えてきており、就業においては、体力や能力に合った就業機会の提供の推進を図り、さらに健康寿命へ向けた取り組みを行い、経験豊かな地域の高齢者が地域社会の担い手として貢献する環境づくりに努めていきます。

2. 事業目標 (年度末)

(1) 契約金	6億8千8百万円
(2) 会員数	1,480人
(3) 就業延人員	14,300人
(4) 事故件数	0件

3. 事業計画

(1) 安全就業の徹底

既存の就業先の安全巡回や安全研修を強化し、また新規の就業先についても契約締結前に高齢者にとって安全な就業であることの徹底を図り、「シルバーには高齢者に適した仕事がある」と全ての会員が安全に就業できることに努めていきます。

(2) 就業機会の拡大

就業開拓推進室を中心に新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、前年度落ち込んだ事業実績を回復させるべく就業先の確保や掘り起こしの強化に努め、多くの会員に就業機会を提供します。

(3) 会員の増強

全国シルバー事業協会の「会員 100 万人達成計画」は引き続き掲げた目標となっており、また、それに伴う当センターの中期基本計画の会員数 1,480 人の目標も達成できるよう会員募集委員会を中心に活動を活性化し就業会員の増強に努めていきます。

さらに、新しい地域班活動を推進する中、市民と共に充実した活動する機会を増やし入会会員の増強に寄与していきます。

(4) 研修会の開催

職群班長副班長の研修、A E D研修、刈払機研修、キャリアアップ研修等を安全・適正就業委員会を中心に実施し、安全な就業と労働者派遣事業にも対応できる人材を育成し、適正に就業することができる機会を提供します。

(5) 適正就業の推進

就業先で請負に馴染まない就業内容や契約書の再考を含め労働者派遣事業への切り替えやワークシェアリングへの理解を深めることを徹底しながら適正就業の推進を図っていきます。

(6) 普及啓発の推進

独自事業であるイベント班を中心に市内のイベントへ参加をする中で当センターを市民へのアピール活動として実施し「発注者と入会会員」の増強に努めていきます。

また、会員の退会抑制に繋がる 1 つとして、広報委員会を中心に「シルバーだより」や事務局だより「会員の皆様へお知らせ版」の充実した内容を目指し、会員の疎外感を削ぐことや会員同士の連帯感が生まれる広報誌の発行を推進していきます。

(7) 財政の健全化

一般社団法人である今こそ、常に無駄を省き、費用の支出を見直すことに注視し、将来に向けて財政が脆弱化することを避け、さらに公益目的事業を推進すると共に公益法人の特徴であります「収支相償の概念」にとらわれることなく財政の健全化を図っていきます。

(8) 設立 40 周年記念事業

令和 2 年度に設立 40 周年記念事業の事業計画がありましたが、新型コロナウイルス感染症のため実施することができませんでした。

今年度、記念式典と記念誌の発行について総務委員会を中心に取り組んでいきます。